

**問** プレミアム付デジタル商品券発行事業について問う

高齢の利用者から操作しづらいとの声があるが、どのように対応しているのか。

また、1人1台スマートフォンを持っていないなどの理由から、「家族が代わりに購入できないのか、購入できないのは不公平である」との問い合わせがあるが、その解消に向けた対策は。

答 利用者の不安を解消しつつ、利用の推進に努める

操作方法については、特設サイトの立ち上げ時から、コールセンターやヘルプデスクを開設するとともに、ショッピングセンターや百貨店での説明会に加えて、市内携帯ショップにおいて、サポートなどを行い、利用者の不安解消に努めてきた。

令和2年度に行ったプレミアム商品券発行事業では、家族分も申請した方もいたが、1人当たりの購入金額が最大2万円だった。

今回、第1期販売は、全ての希望者が購入できるよう、上限額を一人当たり1万円とした後、第2期販売で、より多く利用したい方へ向けて、上限額を一人当たり6万円に設定した。

— その他の質疑・質問 —

- 中心市街地（大門・丸之内地区）の将来像を描くための未来ビジョン策定等について
- 津の海辺を利用した観光振興とスポーツ振興について
- 千歳山およびその周辺の整備計画について
- ギフテッドを始め個性に応じた才能を伸ばす学びの充実について **など**

▶
海辺を活用したスポーツ振興と観光振興を

**問** 運動部活動の地域移行への現時点の取り組みと今後の課題は

本年6月にスポーツ庁の有識者会議が、公立中学校の運動部活動の目指す姿をまとめた提言をスポーツ庁長官に手渡し、その中で令和5年度から3年間をめどに、休日の運動部活動を段階的に地域移行するよう提言がなされている。これを受け、今後公立中学校の運動部活動の地域移行をどう進めるのか、教育委員会の現時点での取り組み状況と、今後地域移行を進めるに当たり津市の課題は。

答 生徒の多様なニーズに合った部活動の在り方を検討していく

8月に、有識者、津市中学校体育連盟代表、津市小中義務教育学校長会代表等による第1回津市部活動在り方検討会打合せ会を行い、今後の方向性や課題等について協議した。令和5年度には、津市部活動在り方検討委員会を立ち上げ、具体的に検討を行っていく。

現時点では、地域の受け皿や指導者の確保、大会に参加できない生徒を生まないための取り組み等の課題について検討している。

在り方検討委員会では、生徒の多様なニーズに合った活動機会の充実および持続可能な部活動の在り方について、具体的に検討していく。

— その他の質疑・質問 —

- 承認第9号専決処分の承認について
- 津市地域脱炭素宣言を受けて今後の津市の取り組みについて
 - 再エネ導入における蓄電設備導入促進とは
 - 公用車更新時の電気自動車等導入の考えは
- 自治体DXの推進について
- 情報企画課の名称変更の考えは **など**

▶
災害時の非常用電源としての活用なども考慮し公用車への電気自動車等の導入を期待する

